

梁ぞっこん
(梁下先埋め戻し工法)

施工要領書

特許取得・施工工事業者 真輝工業株式会社

材料・施工協力業者 西部スチール株式会社

1. 製品仕様

使用要項	捨てコン(基準コン)段差部枠	
材料	原版	溶接亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯
	アミ厚	10mm
	網目	7mm*11mm
	アミ縦・横補強筋	5mm筋 溶接金網
	打ち込み鉄筋	D10mm筋 JIS G 3112
	U型鉄筋	D13mm筋 JIS G 3112
	番線	#14 JIS G 3505
	セパレーター	5mm筋 JIS G 3505

ラスパネル

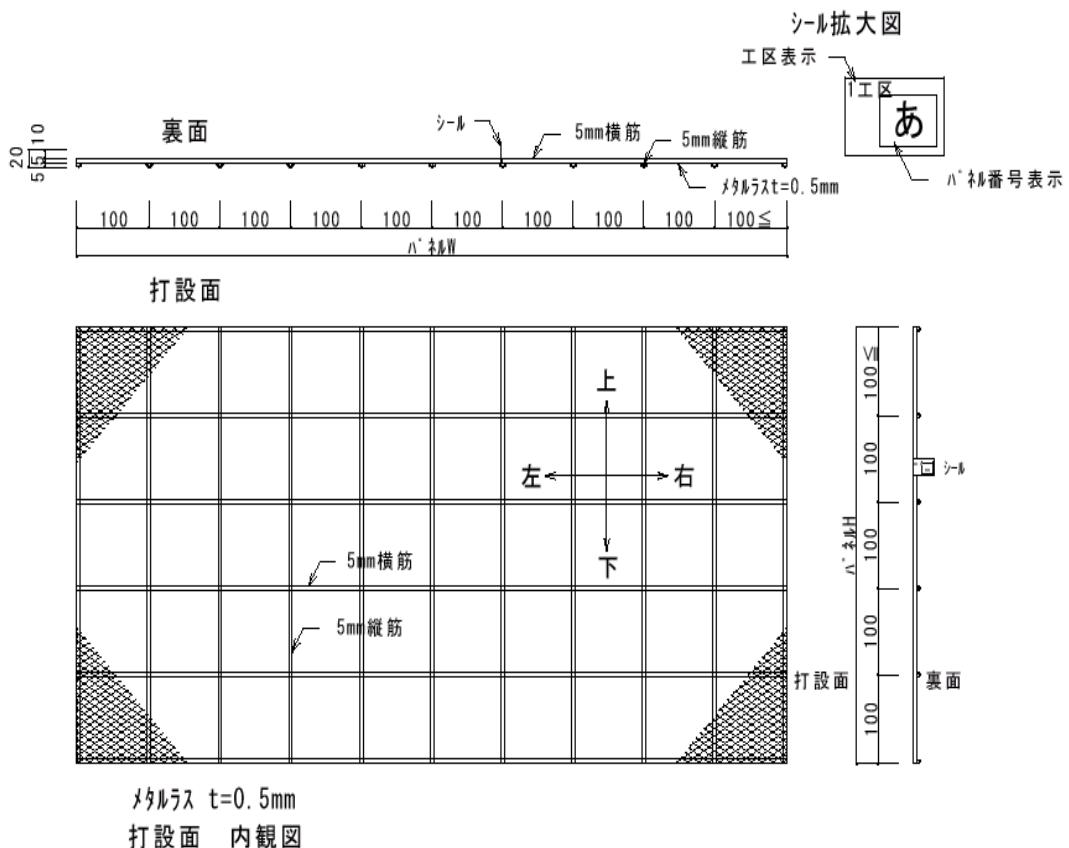
アミ骨組として縦横@100で5mm筋(JISG3551溶接金網仕様)が格子状に組んでいます

表面にはメタルラス $t=0.5mm$ が横5mm筋にスポット溶接されています

パネルには表裏がありパネル裏面にはシールを付け表示させています

パネルL曲げの場合、メタルラスが内側の場合は正曲げとし外側の場合は逆曲げと呼び

共通認識としています



工事概要

フーチングまわりでの梁底段差部及びF GとF B梁の交差段差部を、基礎捨てコン打設前の梁下段差部にラス枠を設置して、基礎捨てコンと同時に打設し梁下の空間を先行して埋め戻す（打設する）工法

2.事前打ち合わせ

①構造図面にて積算・見積もり

ベース回り・F GとF B段差、それぞれのケ所数を算出する。

枠高さは構造図面の段差に50mm足して算出・製作する。

枠幅は構造図面の梁幅に200mm足して算出・製作する。

②工程の確認

ベース捨てコン枠及び地中梁捨てコン枠設置後の施工とする。

梁の捨てコン枠の桟木は100mm以上段差部へ突き出してもらう。

③施工時の確認

基本、段差枠はベース捨てコン枠桟木に50mm食い込ましてセットする。

段差や施工業者に支障が出ないか確認する

④工区分け・資材置き場の確認

材料をある程度工区毎の束にして搬入、根切り底に置けない次工区の材料置き場の確認

⑤搬入車両の確認

一般に600m²までの搬入車両は4t車または8t車を使用とする

また荷下ろしの際、レッカーの有無を確認する。（梱包重量は最大800kg程度）

⑥作業通路・法面からの昇降設備の確認

⑦請負項目の確認

3.施工手順 概要

- 1　掘削
- 2　計測・捨てコン枠・砂利引き・ポイント出し
- 3　梁ぞっこん枠を設置 ・・・・・・・・ 当社請負及び資材販売
- 4　枠に砂利入れ
- 5　捨てコンクリート打設
- 6　墨出し(親・子)
- 7　アンカー設置
- 8　鉄筋組立 ・・・・・・・・ 当社請負 可
- 9　在来型枠またはラス型枠組立 ・・・・ 当社請負 可
- 10　コンクリート打設

施工手順

4.施工前指示・状況

段差部図1。梁の構造幅寸法から片側100mm広げた位置に桟木枠を設置し
段差部方向へ桟木枠を100mm以上飛びだして設置してもらう

図1

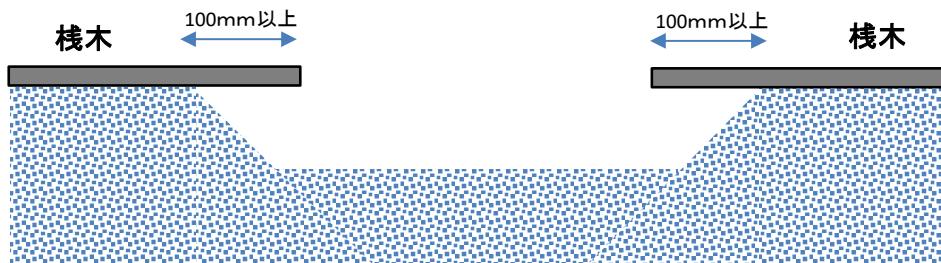


図2

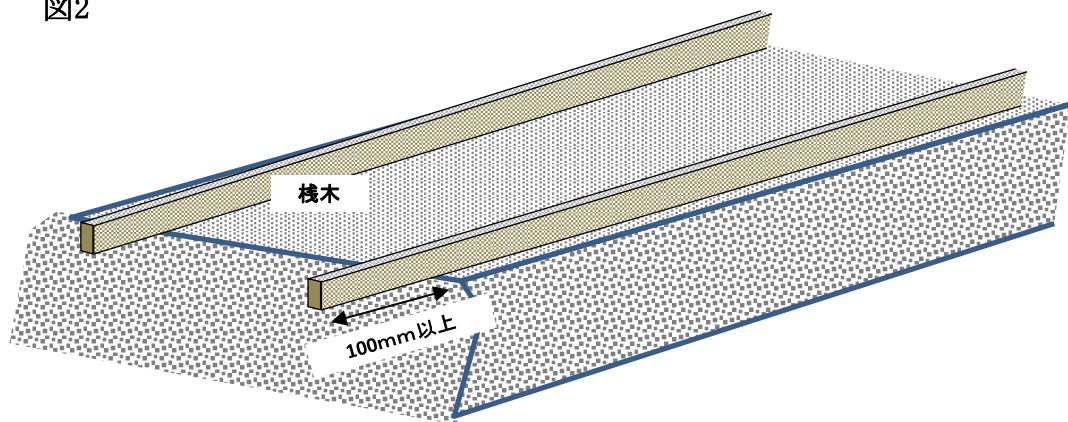
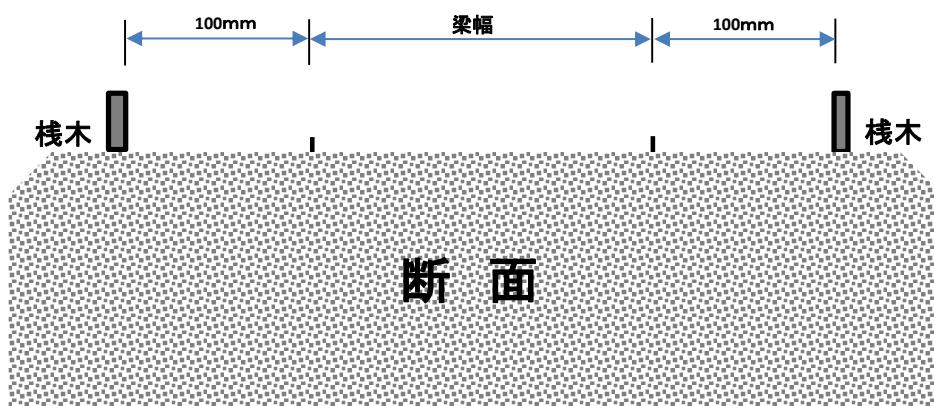
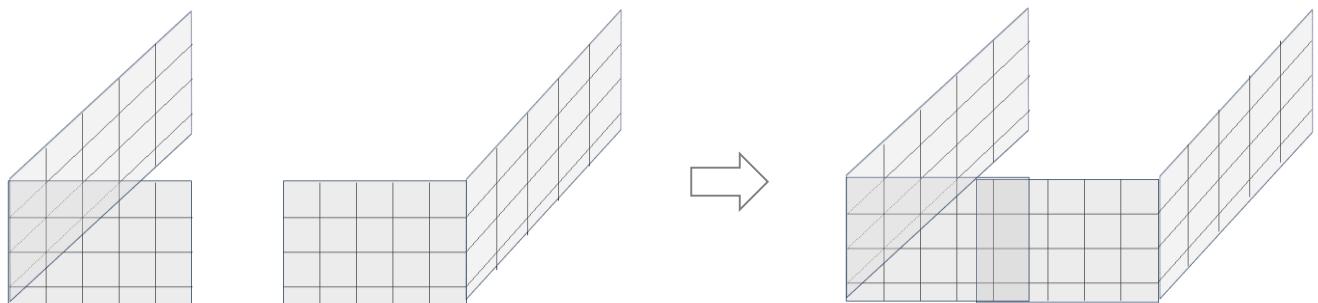
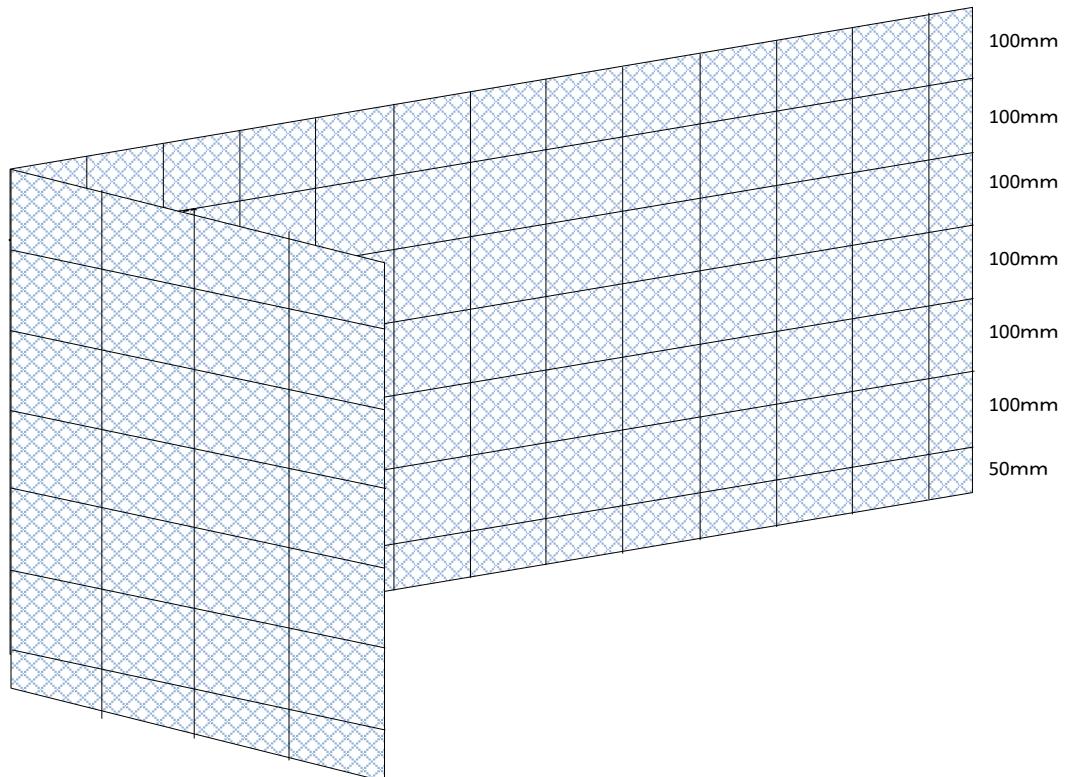


図3



5.パネル加工指示

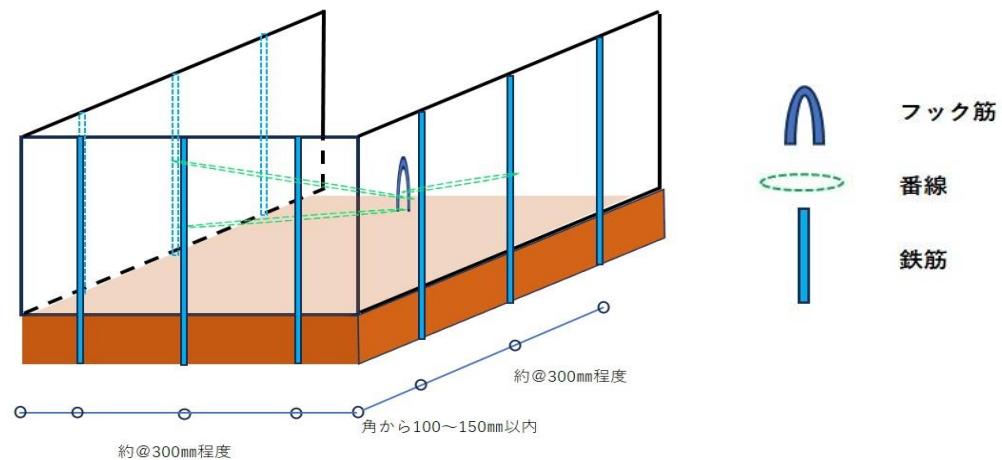
高さは段差寸法プラス50mmで加工指示、横幅は構造寸法プラス300mm割る2の切りのいい寸法でパネルをL曲げ加工(正曲げ=アミ内側張り)とし、全長は基本は800mmで製作する。また、現場状況により全長は変更可能です。(搬入約10日前まで)
※パネル寸法によっては、50mmの位置に骨組筋がつかない場合があります。



6. 施工方法

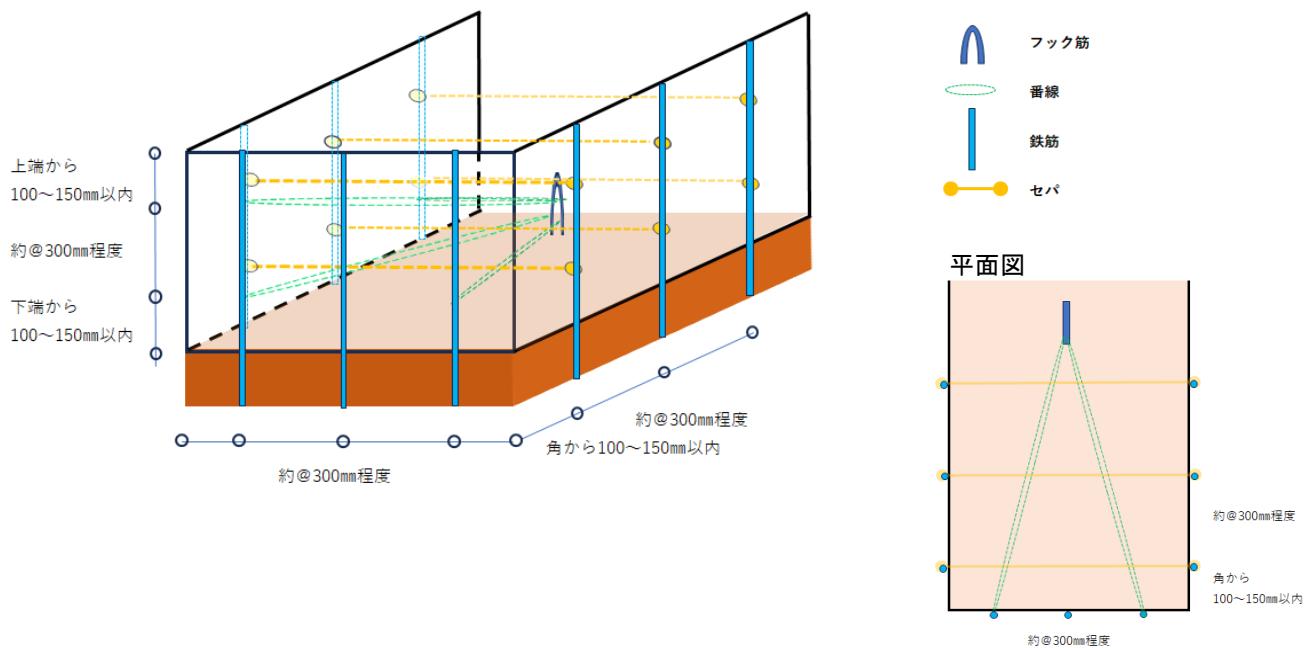
段差寸法200mm未満の場合

段差根切りに合わせてアミをカット・内側に折り曲げ、ベース捨てコンクリート内に50mm食い込みませ中央部を重ねて設置し、鉄筋(D10)は下図の間隔で地中に約200mm打ち込む。
また、ラス枠内U型鉄筋を打ち込み下図の通り、長番線で膨らまない様に締める。



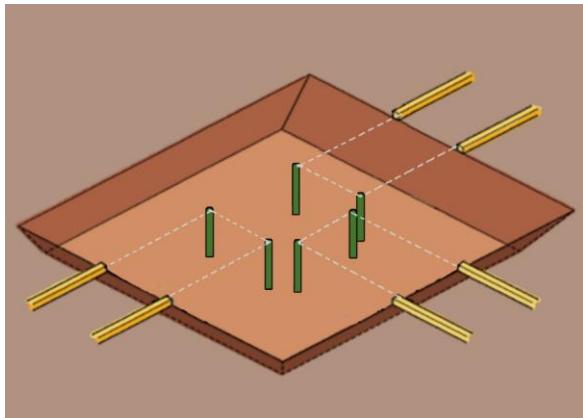
段差寸法200mm以上の場合

段差根切りに合わせてアミをカット・内側に折り曲げ、ベース捨てコンクリート内に50mm食い込みませ中央部を重ねて設置し、下図の間隔でセパを設置する。(網は穴を空けて通す)
鉄筋(D10)はセパ両端の穴に差し込み地中に約200mm打ち込む。
ベース面も同じように下図の通り、鉄筋(D10)を地中に約200mm打ち込む。
また、ラス枠内U型鉄筋を打ち込み下図の通り、長番線で膨らまない様に締める。

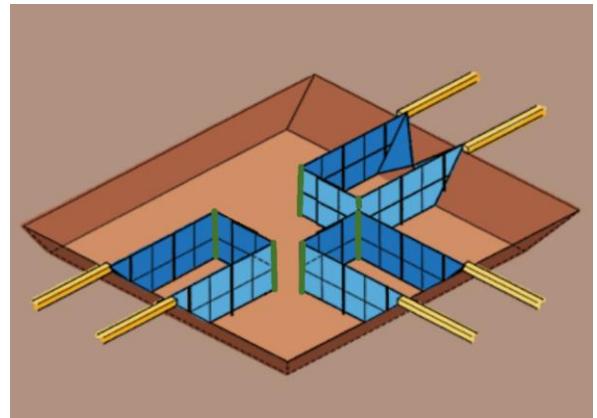


梁ぞっこん施工手順

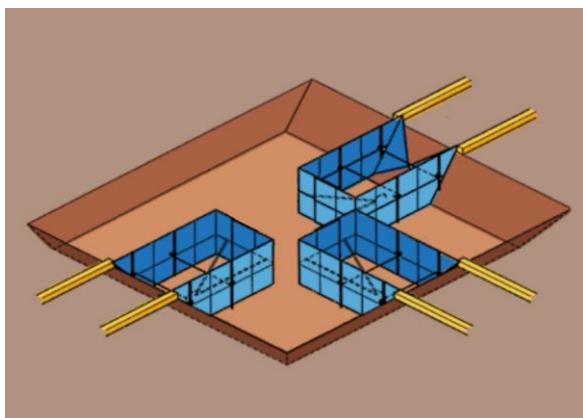
① ラス枠の位置出し



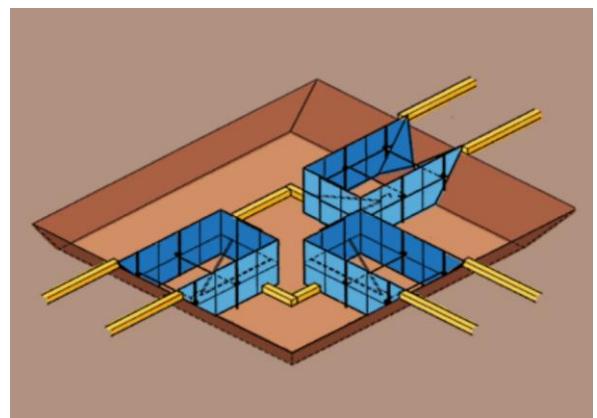
② ラス枠の設置



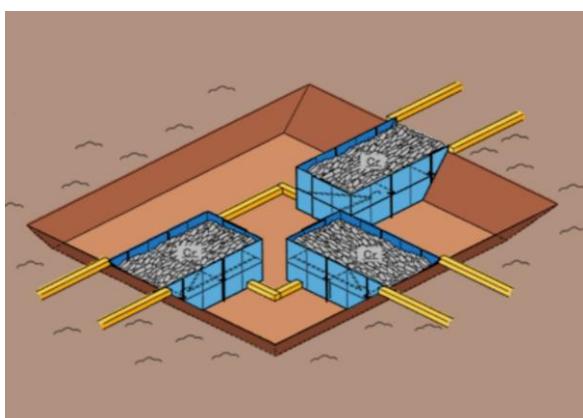
③ ラス枠の固め



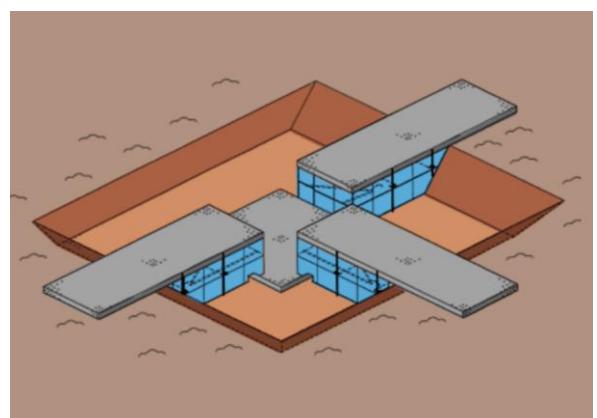
④ ベース捨てコン枠設置



⑤ ラス枠内に碎石の充填

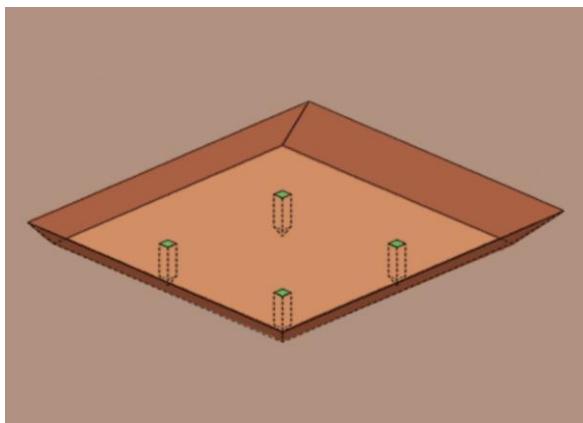


⑥ 捨てコンの打設

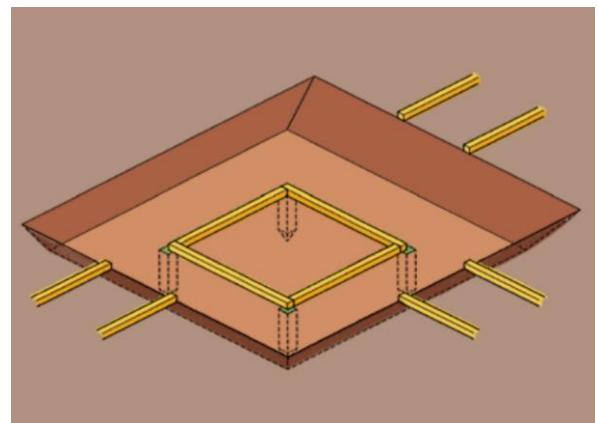


梁ぞっこん施工手順

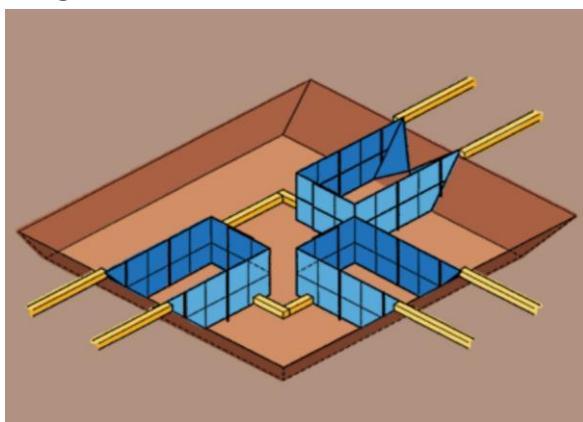
① 床付け後の位置出し



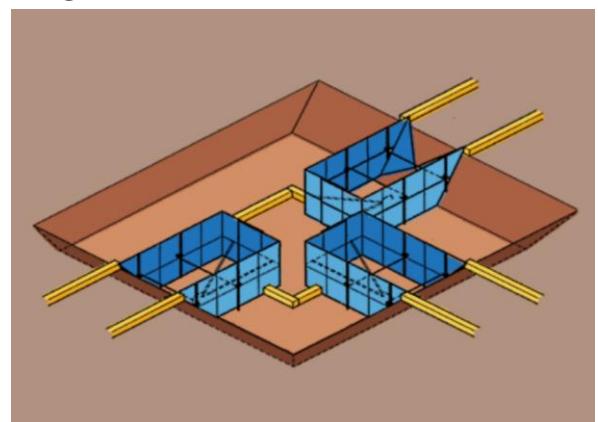
② 捨てコン枠の設置



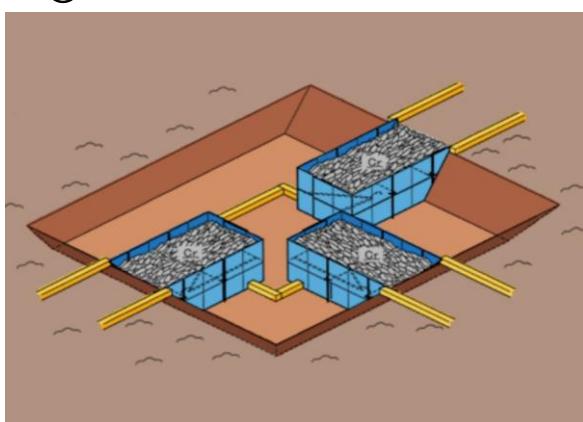
③ ラス枠の設置



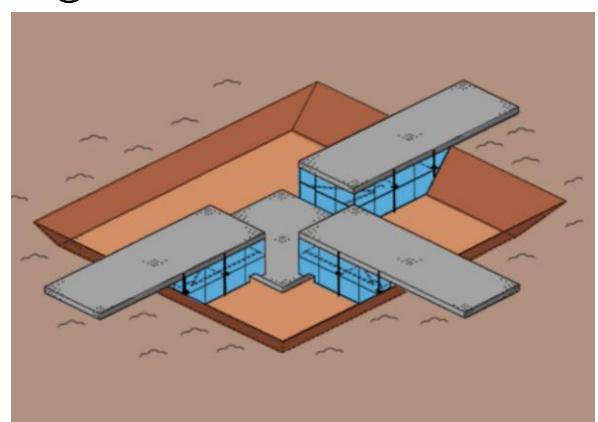
④ ラス枠の固め



⑤ ラス枠内に碎石の充填



⑥ 捨てコンの打設



7.施工完了後

(エ)自主検査

- ① ラス枠天端が梁の捨てコン止め桟木枠天端と同レベルか(-10mm+20mm以内)
- ② ラス枠の幅が捨てコン止め桟木幅とほぼ同等か(±10mm以内)
- ③ 基礎・FG捨てコン止め桟木よりラス枠を食い込ませる寸法は適切か(60mm以内)
- ④ まとめ時のフック筋からの番線止めは適切か(番線にたるみがないか)
- ⑤ 残材の片付け処理は済んでいるか

(オ)現場担当者へ施工・検査終了した際、各工区毎に報告

(カ)打設時の確認指示

- ① パネルに足をかけない・ひっかけないよう注意する
- ② ラス枠内に碎石を充填する場合はアミ天端から50mmとする。
- ③ ラス枠内の碎石を充填しない場合の打設高さは600mm未満とし、それを超える場合は分割して打設する。

(キ)次回の工程確認

ポイントの位置出し

100mm+梁幅+100mm

梁ぞっこんの両角にポイントを出しておく

基礎面から100mm

基礎面から50mm

基礎躯体面

100mm+梁幅+100mm

骨組切断寸法の計測

法肩の寸法を測る

法尻の寸法を測る

骨組切断及び設置方法

